

# 都市再生整備計画(第4回変更)

ふじえだちゆうしんしが いちかっせいかちく  
藤枝中心市街地活性化地区

しずおかけん ふじえだし  
静岡県 藤枝市

平成21年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	藤枝市	地区名	藤枝中心市街地活性化地区	面積	223.7 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

### 目標

JR東海道線藤枝駅周辺の中心市街地において、まちづくりに必要な事業を総合的に推進し、藤枝市の「表玄関」の活性化を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

藤枝市は、旧東海道五十三次の宿場町であった地区と、JR東海道線藤枝駅周辺の当地区と、二つの中心市街地がある。藤枝駅を中心とする地区は、駅の南北5地区における土地区画整理事業の実施により、藤枝市の中心市街地として順調に発展してきた。しかし、近年の車社会の進展、郊外への大規模店舗の出店により、空き店舗の増加、商品販売額の減少傾向が現れてきた。また、藤枝駅の平均乗車人員も、東西での新駅の設置により減少傾向にあり、藤枝市の表玄関口としての機能低下が懸念されているため、整備済みの中心部に隣接する、周辺への整備対策が早期に望まれている。

このような状況に置かれ、駅南市街地を東西に結ぶ主要幹線小川青島線は、総延長の3/4が既に整備され、残る高柳地区においての早急な整備が必要とされる。

藤枝駅は、交通バリア法に基づく基本構想の重点地区に指定され、また、老朽化、非耐震のため高齢者や身体の不自由な人などみんなが安心して通行できる自由通路の整備と一体的に橋上駅のバリアフリー化と耐震化を整備する必要がある。

近隣公園は、土地区画整理事業により基盤整備が行われ、既に用地が確保され、周辺は住宅や商業施設が立地しているため、憩いの広場や地域防災の拠点としての整備が必要である。

また、青木地区は、土地区画整理事業の実施済地区に隣接しているが、未利用の農地が多く残されているため、中心市街地にふさわしい基盤整備が必要である。

さらに、地域住民の利便性の向上や本地区の魅力の向上を図るため、文化・学習機会が提供できる機能を充足させることが求められている。

#### 課題

これまで駅周辺の公共施設整備とまちづくりに取り組んで来たが、現状での更なる地域活性化は難しく、周辺での道路、公園、土地基盤整備や文化・学習のための拠点整備が必要である。

#### 将来ビジョン(中長期)

- ・駅北側の青木土地区画整理事業により、市街化区域内農地を宅地化し、定住人口の増加を図る。
- ・駅南側において一部未整備の都市計画道路を整備し、周辺の人の交流と交通渋滞の解消を図る。
- ・憩いの場、防災拠点としての公園整備を行い、潤いの有る安全な地区環境を目指す。
- ・文化・学習拠点として図書館整備を行い、まちなか居住における文化的利便性の向上による定住促進や来訪者の増加による交流拡大を図る。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
定住人口	人	5年後人口の比較	にぎわいのあるまちづくりの実現	38,516	15	39,600	20
藤枝駅一日平均乗車人員	人	乗車人員数の比較	人口増を図り、駅の乗車人員増と共に、にぎわいの創出につなげる	12,195	16	12,000	21
公共施設利用者数	人	計画区域内における公共施設利用者数の比較	施設利用者を増加させることで、市街地の賑わいを促進する	722,596	16	920,000	21
宿泊客数	人	計画区域内における宿泊客数の比較	宿泊者数の増加により、地域活力の向上につなげる	50,052	16	52,430	21

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・当地区は、藤枝市中心市街地活性化基本計画に位置付けられており、都市としての魅力を高めるために、「駅南北の一体化のための空間づくり」、「中核都市としての顔と核づくり」、「中核都市としての商業地づくり」の3つの柱で整備を行ない、誰にでもやさしいまちづくり、もてなしとにぎわいのある空間づくりを目指す。</p>	<p>公園、広場の整備 藤枝駅橋上駅舎改築事業（提案事業）</p>
<p>・駅中心市街地から周辺市街地の整備改善を積極的に推進し、地区全体の都市としての魅力を高める。このため、地区への交流人口の増大、地域住民の利便性の向上、新たな都市活動の創出、都市施設・公共施設の利活用の向上などを推進し活性化を図る。</p>	<p>小川青島線等道路整備、青木区画整理事業（仮称）新図書館整備事業（提案事業）</p>
<p>・地域住民の各種団体やグループが、地域の特色を生かした様々な活動を展開し、生き甲斐と誇りを見出し、居住環境の安全で、快適な市民生活の確立と、歳末には視覚に訴える「クリスマスイルミネーション」事業で賑わいの創出、また、自分たちで出来る公共施設の管理運営が、続けられる環境を整える。</p>	<p>公園、広場の整備、青木区画整理事業 駅周辺まちづくり推進事業（提案事業） 地域生活基盤施設（飲料水兼用耐震性貯水槽、備蓄倉庫）</p>
<p>さらに、災害発生時の地域防災の拠点を設置することにより、安全で安心な居住環境の向上を図る。</p>	
<p>その他</p>	
<p>○ 関連事業では、藤枝駅北口広場の整備、南北自由通路の改築、ひとにやさしいまちづくり事業等、駅周辺の整備を進めている。</p> <p>○ 現在、地区内には、地域に根ざした自主的な数多くの団体が、様々な活動を展開して地域の健全な発展に努力している。</p> <p>・「高柳地区環境整備協議会」は高柳地区の生活環境を整備し明るく住みよい街づくりを推進することを目的に活動している。地域住民が一丸となって、調査、研究、視察、協議等、積極的に活動し、本年度も「小川青島線」の事業推進には、難航する地権者への理解、協力の働きかけや代替地の選定にも活躍されている。</p> <p>・「駅南近隣公園ワークショップ」は公園建設計画を前に、地元町内会の有志が自分たちの身近に完成する公園が地域の人々に親しまれる人気の公園になるようには、いかに有るべきか、住民ならではの多くの意見やアイデアを出し合い、勉強会を重ね、繰り返し研究してきた。それで近隣公園は3箇所のゾーニング（憩のゾーン、プレイゾーン、多目的ゾーン）に分け基本計画（ゾーニング案）が立案され、これを基に実施設計を策定し、公園整備を進めている。</p> <p>・「青木地区まちづくり委員会」は平成2年から住民の意見が反映されたまちづくりを目指して、地区計画を立案し、建物の高さや壁面位置の制限、垣根や柵の構造制限および、造成高の抑制等の取り決め、それに加え「まちなみデザイン推進事業」で特出した、建築物のデザインや色彩の制限、また、「我まちデザイナー」の募集、地区住民のアイデアを取り入れた計画書「青木物語」の作成、「まちづくりたより」の発行と全戸配布、青木南北線・青木小石川線の修景施設実施設計作成、年1回の県外まで出掛ける先進地の視察、年3回（竹の子堀、納涼会、忘年会等）の交流会開催、地域内の道路、公園、河川等の維持管理について里親制度の調印を行ない、月1回以上の里親活動を行なう等、数多くの活動を通して、他に誇れる大変好ましい地域づくり、人づくりを行なっている。</p> <p>・この他、商店街では、「駅前商店街振興組合」「駅南商店街振興組合」「振興組合喜多町名店街」「日の出町商工発展会」「富士見町通り発展会」等数多くの団体があり、「納涼夏祭り」「酉の市セール」「春休み感謝セール」「歳末セール」「てーしゃば朝市」「七福神祭り」「花壇定植管理」「アーケード補修」と数多くの地域にあった事業を行ない、にぎわいの創出に努力している。</p> <p>・新図書館は、商業施設との合築による整備を想定しており、複合施設としてより拠点性の高いハブ機能を持たせる整備手法が可能となるよう条件整備を進めている。</p>	





## 藤枝中心市街地活性化地区(静岡県藤枝市) 整備方針概要図

目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の定住人口を3%増加させる。</li> <li>・利便性や安全性に優れた居住空間を創出する。</li> <li>・にぎわいの拠点となる商業活動、生活基盤を整備する。</li> </ul>	代表的な指標	定住人口 (人)	38,516 (平成15年度)	→	39,600 (平成20年度)
	藤枝駅一日平均乗車人員 (人)		12,195 (平成16年度)	→	12,000 (平成21年度)	
	公共施設利用者数 (人)		722,596 (平成16年度)	→	920,000 (平成21年度)	
	宿泊客数 (人)		50,052 (平成16年度)	→	52,430 (平成21年度)	

